



IXIL サーモスIIねじ付用DS窓枠セット(四方枠・三方枠・一方枠共通)

組立て・取付け説明書

●この説明書は、必ず組立て・取付けされる方にお渡しください。

■組立て・取付け上のお願

- 造作材・建具枠を取付ける時は、必ず接着剤を併用してください。かい木を使用する場合は、かい木の両面に接着剤を塗布してください。
- 現場で使う接着剤は、「F☆☆☆☆」又はノンホルムタイプを使用してください。
- 本製品は、浴室内部など常時湿り気のある場所には、取付けしないでください。
- 本製品のねじ締め付け時には、クラッチ付きのドライバーを使用してください。締め付けトルクが強すぎると、ねじが空転したりねじ頭が飛んだり、つぶれる場合があります。
- 造作材・建具枠の下地材は、必ず乾燥材(含水率20%以下)を使用してください。湿潤材は使用しないでください。壁内の通気が悪く、内部結露が発生するおそれがある場合は、防水処理をしてから施工してください。
- 窓枠の組立て後、ねじれ・引張りなど無理な力を加えないでください。破損する原因になります。
- 造作材・建具枠をコンクリートやモルタル(床面)に直付けしないでください。やむを得ず直付けする場合は、造作材・建具枠小口と床面の間に必ず防水処理をしてください。
- 勝手口・玄関ドアなどの水まわりに使用すると、窓枠が膨張したり腐食することがあります。コンクリートやモルタルなどと窓枠とは縁を切り、すき間はシーリングで処理する、又、埋込む場合は金属カバーなどをするなど、必ず防水処理をしてください。
- 枠を取付ける際、水準器・下げ振りなどで水平・垂直を確認してください。
- 窓枠固定金具は部材端部から150mm離し、500mm以下のピッチで取付けてください。
- 窓枠の見込み幅が大きい場合や、荷重を受ける部分(下枠部)などには、必ずかい木(支持脚)を入れて施工してください。かい木(支持脚)は、合板などの乾燥材を使用し、湿潤材は使用しないでください。
- かい木(支持脚)を使用する際は必ず接着剤で固定してください。
- かい木(支持脚)に塗布する接着剤は全面に塗布してください。接着剤が少ないと、すき間やソリの原因となります。
- 取付けの際は、はじめに窓枠をサッシに取付けてから窓枠固定金具を取付けてください。

■取付け順序

1 枠材の切断

【三方タイプのみ】

- 204テラスタイプ三方枠の場合、縦枠の下端(A部)は現場寸法に合わせてカットしてください。

(204テラスタイプ以外の窓枠はカット不要となります。)

※204テラスタイプ・浴室ドア用・玄関ドア・アパートドア用以外の縦枠はカット不要となりますが、材料特性上長くなる場合があります。長い場合は縦枠下部を削ってからご使用ください。

2 枠組み

- アングルしゃくり部分にズレがないように枠を組み、同梱のジャストフィット金具用トラス小ねじM4×40で固定します。
- ケーシング付きタイプの見込み66mm、ノンケーシングタイプの見込み54～68mmはジャストフィット金具用トラス小ねじM4×40を1本止めます。
- 縦部材と横部材の接合部には、必ず接着剤(現場手配)を塗布してください。
- ノンケーシングタイプ突付け仕様の場合は、同梱の木口シーリングを縦枠木口面に張付けてください。

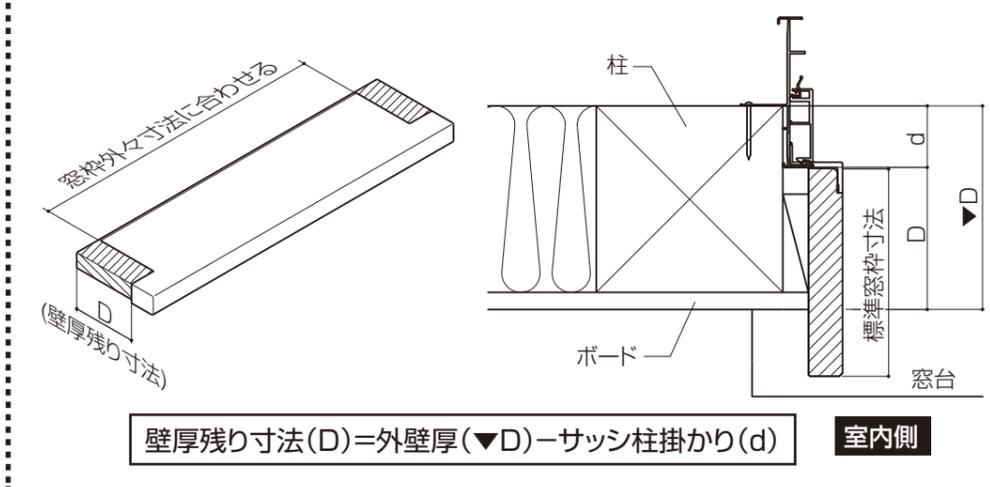
【窓台タイプのみ】

- 窓台の両端および出幅(B部)は、右下図に従ってカットしてください。
- 窓台に同梱の木口シーリングを、窓台の両端に接着剤で張付けます。

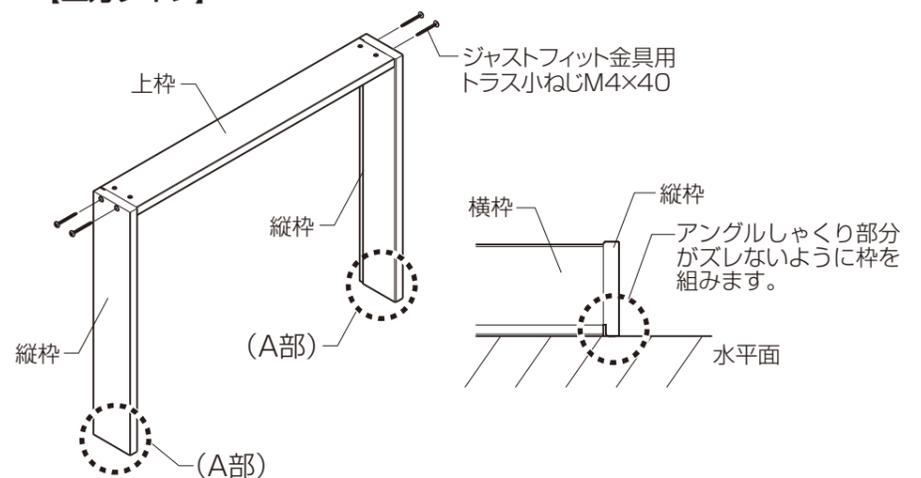
お願い

【窓台タイプの場合】

- D寸法は必ず、内壁仕上げの寸法を見込んで設計してください。
- ※D寸法が正しくないと、胴縁およびボードが入らなくなったり、すき間が生じたりします。(下図寸法公式は、右上図の参考納まりの場合です。)



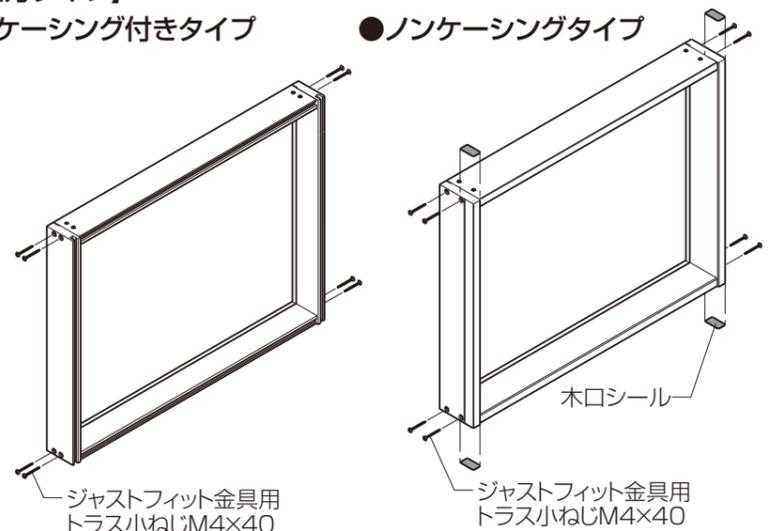
【三方タイプ】



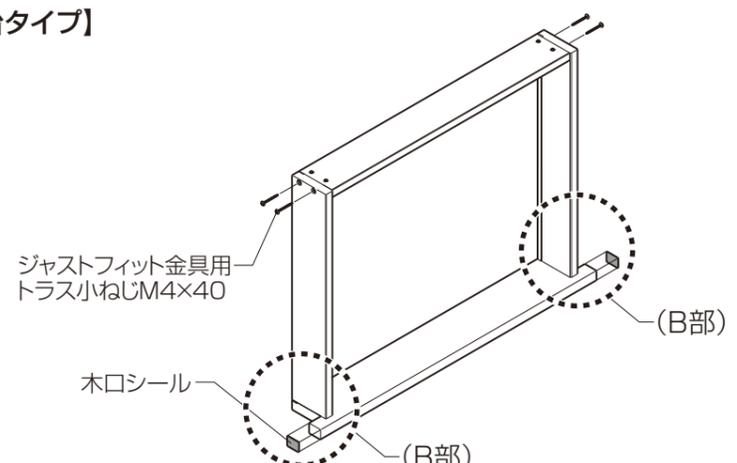
【四方タイプ】

●ケーシング付きタイプ

●ノンケーシングタイプ



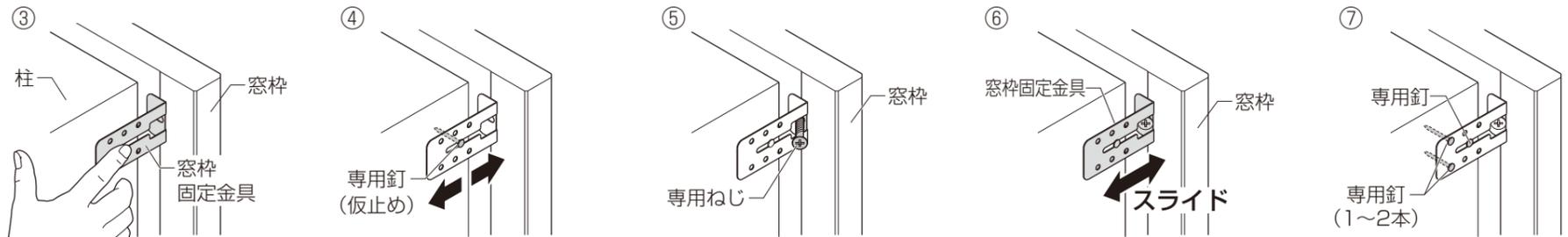
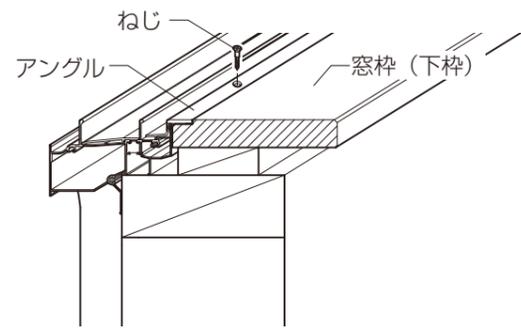
【窓台タイプ】



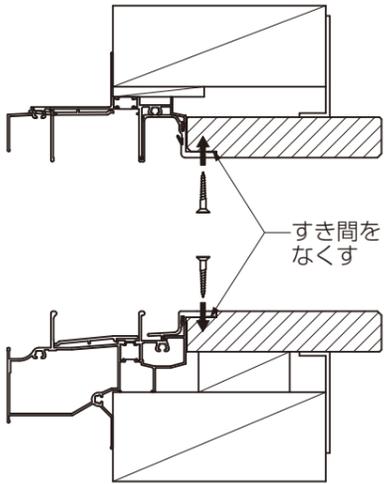
3 開口部およびサッシ枠への取付け

【四方枠・三方枠・一方枠 共通】

- ①窓枠をサッシに挿入します。
- ②最初に上部アングルと窓枠をねじ止めし、次に下部アングルと窓枠、最後に縦アングルと窓枠をねじ止めしてください。
窓枠のねじ止めはアングルとの間にすき間のないことを確認してから、ねじ止めしてください。
- ③枠を開口部に合わせ、窓枠固定金具を柱に当てて、窓枠との取付け位置を決めてください。
- ④付属の専用釘を長穴に打込み、仮止めします。その際、金具が動く余裕を持たせてください。
- ⑤付属の専用ねじを斜めに窓枠へ打込みます。
- ⑥窓枠固定金具をスライドさせ、窓枠の位置を微調整してください。
- ⑦アングルと窓枠の間にすき間ができない位置で、付属の専用釘を1~2本釘穴に打込んで固定してください。
(長穴に打ち込んだ仮止めの釘も最後まで打込んでください。)

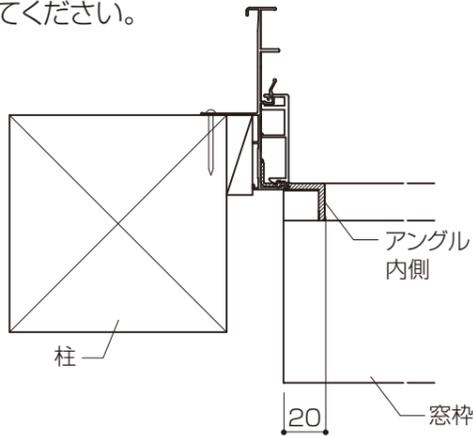


【開口部への取付け】



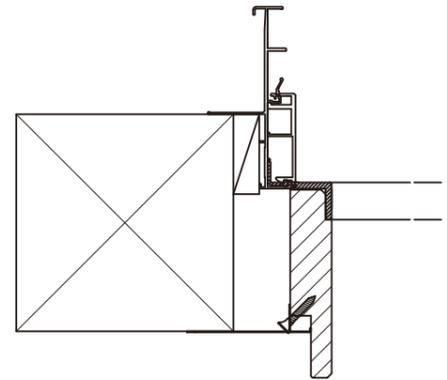
【一方枠の取付け】

- アングル内側から窓枠の端が20mmの位置に取付けてください。



【スマート10用窓枠固定金具の取付け】

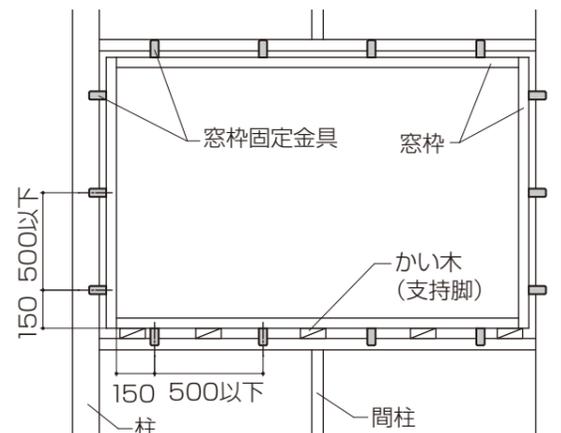
- スマート10用窓枠固定金具のねじは、切り欠き部分に止めてください。



お願い

1. 窓枠固定金具は部材端部から150mm離し、500mm以下のピッチで取付けてください。
ただし、部材寸法が350mm以下の場合には中心に1個で固定します。
2. 窓枠の見込み幅が大きい場合や、荷重を受ける部分(下枠部)などには、必ずかい木(支持脚)を入れて施工してください。
かい木(支持脚)は、合板などの乾燥材を使用し、湿潤材は使用しないでください。
3. かい木(支持脚)を使用する際は必ず接着剤で固定してください。
4. かい木(支持脚)に塗布する接着剤は全面に塗布してください。
接着剤が少ないと、すき間やソリの原因となります。
5. 取付けの際は、はじめに窓枠をサッシに取付けてから窓枠固定金具を取付けてください。

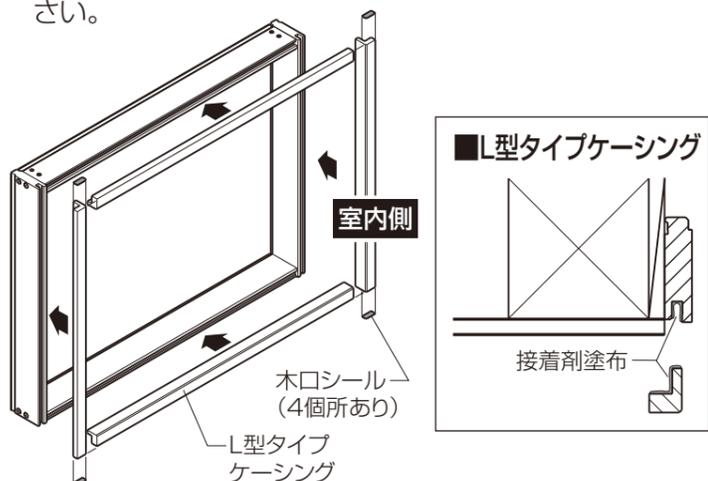
●窓枠固定金具施工例



4 ケーシングの取付け

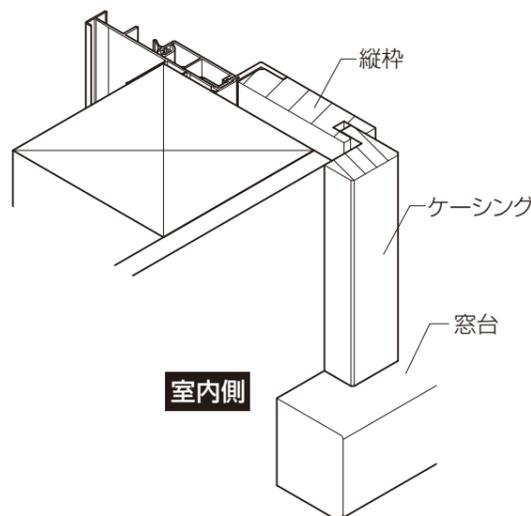
【ケーシング付きタイプのみ】

- ①ケーシング溝とケーシング裏面に接着剤(現場手配)を塗布し、すき間・ズレの調整を行い、ケーシングを固定します。
- ②同梱の木口シールを縦ケーシング木口に張付けてください。



【窓台タイプの場合】

- 下図の納まりとなるよう、ケーシングを切欠いてください。



【出窓タイプの場合】

- 下図の納まりとなるよう、ケーシングを切欠いてください。

